

コンソールメッセージの見落としや入力ミスはありませんか？

FAQS/ASO for VSE は VSE データ・センターを自動化するためのツールです。
FAQS/ASO のコンソール・オペレーションの自動化機能は、オペレータ及び
システム・プログラマを煩わしいコンソール・メッセージへの対応から
開放し、生産性向上と安定稼働の実現が可能です。

さらに、FAQS/ASO には VSE システムには無い
サブコンソール機能を提供します。



FAQS[®] / ASO

for VSE

販売元



株式会社 **パラドックス**

〒107-0052

東京都港区赤坂 3 - 2 - 2 アマンド赤坂ビル 8F

TEL:03-3505-5331 / FAX: 03-3505-5386

e-MAIL: paradox@kkparadox.co.jp

URL:<http://www.kkparadox.co.jp>

FAQS®/ASO for VSE

(Automated Systems Operations)

(適用 OS : VSE/SP, VSE/ESA)

FAQS/ASO for VSE の特長



自動オペレーション、リモート・コンソール・サポート機能、スループット向上機能など、幅広いシステム操作の自動化ツールです
CMS, CICS, VTAM 端末を VSE コンソールとして使用可能です。

指定されたパーティションで稼働した全てのジョブ、アペンドしたジョブのレポートを出力できます。

FAQS/ASO は、VSE/ESA 環境でトータルな利用を可能にするよう機能拡張されています。

システム運用の自動化

FAQS/ASO は次のものに対して自動的に応答する事が出来ます。

- VSE コンソール上の任意のメッセージ
- VTAM ベースのアプリケーションに関連したイベント
- エンド・ユーザのリクエスト
- オペレータ・コマンド

FAQS/ASO は次の通り、自動化されたデータ・センターのオペレーションを実現します。

- コンソール・メッセージを管理して選択されたメッセージに対して自動的に回答します。
- オペレーション・スタッフの必要に合ったユーザ自身のコンソール・コマンドを作成する事を可能にします。
- FAQS/PCS (VSE 用本番スケジュール管理システム)によって対象とすることのできるイベントの受け渡しが可能です。
- REXX で書かれた、いっそう複雑な操作状況をコントロールするインテリジェント・モジュールを (IMOD) 作成します。

メッセージ管理

FAQS/ASO を使用することによって、システムをプログラムしてメッセージに対し自動的に作動するようにできます。

生産性支援

FAQS/ASO はデータ・センターのあらゆるレベルで生産性を改善する為の多くの機能を提供します。

リモート・コンソール・サポート

FAQS/ASO はリモート・コンソール・サポートを提供しており、CMS, CICS, VTAM 端末などから VSE コンソールにアクセスする事ができます。

ユーザー・カスタマイズされた PF キー

VSE のコンソールに対して PF キーをカスタマイズすることができます。ユーザはどの PF または PA キーに対しても共通のオペレータ回答およびコマンドを割り当てる事ができます。

POWER 待ち行列を表示

POWER 待ち行列表示機能によって許可されたユーザは POWER の待ち行列およびメンバーを効率良く速やかに表示したり、操作する事ができます。

問題判別のためのツール

FAQS/ASO の問題判別ツールによると、データ・センター要員は、ユーザに影響が出る前に潜在的な問題の所在について知らされます。問題解決を速めるためにもツールが使用されます。

タイム・スタンプ

コンソール・メッセージおよび回答をすべてタイムスタンプしますので、システム活動の詳細履歴が得られます。

ジョブ稼働レポート

一連の詳細なジョブ終了レポートやアペンド・ジョブ・レポートを出す事ができます。

分割コンソール表示

システムを包括的に概観する為には FAQS/ASO の分割画面コンソール表示を利用する事ができます。

仮想記憶表示

キーワードおよび VSE 制御ブロック名を使用して、仮想記憶をオンラインで調べる事によって、問題の判別を速めることができます。

プロダクトによる統合化

GoalPlex と呼ばれるプロダクト統合化アーキテクチャによって真の意味で VSE プロダクトの統合化を実現できます。各プロダクトは外観や使用感覚が共通であり、コマンド、インターフェース、画面設計および PF キーも共通の仕様になっています。関連プロダクトに対して、単一のテーブおよびインストレーション手順が用意されており、プロダクトに関する学習効果が上がります。このように複数のプロダクトでは、優れた統合化により個別のプロダクトの総和を超える価値が得られます。

